

DR柿崎 眼瞼下垂ライブ(2症例)講習会

眼形成・再建 + 整容スキルを供覧

2017年、JAASアカデミーでは後継医師によるライブ授業として「美容整形塾」が継承されつつ、新たに「柿崎塾」が開校！視機能を重視した眼瞼下垂治療の「肝」を伝授します。

JAASの特別顧問に就任していただいた柿崎 裕彦(愛知医大病院 眼形成・眼窩・涙道外科)教授が、美容外科のトラブル症例・リオペなど講義で解説しながら、50歳、60歳の眼瞼下垂術2症例を公開する。

限定16名・受講者のみ(非売品)に講義、ライブ供覧映像DVDを2週間後に進呈

6月11日(日) 講義: TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター ライブ供覧: 東京皮膚科・形成外科銀座院
AM10時 - PM5時 JAAS会員「認定医」資格の履修単位4単位授与

手術撮影モニター (SurgiArm) を設置、眼瞼形成のマイクロサージェリーをライブと同時に観察します



美容外科でのトラブル症例、合併症相談や修正治療は「眼科に戻る」、60歳以上に多い術後のドライアイ、閉瞼不全、夜間兔眼などに対処する上瞼挙上の加減を伝授する

眼瞼下垂の治療では視機能のトラブル・異常が少なくない。美容外科での術後のこうした症例は「大学の眼科」に駆け込まれるケースが多い。多くの症例を目の当たりにしてきた柿崎DRは「上眼瞼の解剖と涙腺とドライアイの基礎知識は必須」として、とりわけ高齢者のトラブルとその対処について講義&ライブ授業で教えていただく。

コメンテーター役に韓国からChoi医師招き、眼瞼機能障害ケースと上眼瞼けん引のポイントを投げかける。柿崎教授からは手術の「肝」の小切開法と挙筋腱膜の剥離を解説しながら術中もディスカッションする。

共にアジアや世界の眼形成学会でその学術論文そしてスキルを認められているChoi医師、柿崎教授のふたり。互いに「良き友人」としても尊敬しあうOPHTHALMIC PLASTIC SURGEONSだ。それぞれの手術の「肝」を講義とライブ供覧を通じてディスカッションしていただく。

こんな先生方にぜひお薦めします

- 技術を身につけたが、学会に行っても症例報告ばかりで研鑽中の自分には吸収できない。
- 日常の手術で困る「合併症」などの対処法を、気軽に相談できる「先生」がほしい。
- できれば手術をみながら他科から美容外科、美容医療に転向あるいは一部の診療を取り入れたいが、自分が手術をできるようになるか？現場をみてみたい。

6月11日(日) プログラム

- ◎ 受付 AM9:30~ TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター(詳細地図はお申込時)
- ◎ AM10:00~11:30 **DR柿崎の 眼瞼下垂術 解剖・術式・動画解説**
「視機能を重視した眼瞼下垂の治療~その考え方と症例による適用 ①上眼瞼解剖と涙腺とドライアイなどの合併症 ②コーカソイド、モンゴロイドの眼窩隔膜合流部・Muller筋の位置の相違と上眼瞼の挙上について ③小切開法と挙筋腱膜の剥離のポイント ④症例解説」
愛知医大病院 眼形成・眼窩・涙道外科教授
(OPRS日本眼形成再建外科学会理事長) 柿崎 裕彦MD
- ◎ AM11:30-PM12:30 **DR Choiの 眼瞼下垂術 術式・動画解説(日英通訳)**
「眼瞼機能障害ケースと上眼瞼けん引のポイント~解剖・術式・症例による解説」
Myoung Eye Surgery Clinic院長 Choi Woon Chul MD
- ◎ PM12:30~1:00 昼食・休憩
- ◎ PM1:00 全員徒歩にて、東京皮膚科・形成外科銀座院へ移動
- ◎ PM1:30~2:00 モデル(1) ムンテラ、デザインマーキング
愛知医大病院 眼形成・眼窩・涙道外科教授
(OPRS日本眼形成再建外科学会理事長) 柿崎 裕彦MD

- ◎ PM2:00~3:00 **DR 柿崎の 眼瞼下垂術 LiveSurgery ケース(1)**
オペ室にモニター設置 ライブと映像同時観察
術者: 愛知医大病院 眼形成・眼窩・涙道外科教授
(OPRS日本眼形成再建外科学会理事長) 柿崎 裕彦MD
コメンテーター: Myoung Eye Surgery Clinic院長 Choi Woon Chul MD
- ◎ PM3:00~3:30 モデル(2) ムンテラ、デザインマーキング
愛知医大病院 眼形成・眼窩・涙道外科教授
(OPRS日本眼形成再建外科学会理事長) 柿崎 裕彦MD
- ◎ PM3:30~4:30 **DR 柿崎の 眼瞼下垂 LiveSurgery ケース(2)**
オペ室にモニター設置 ライブと映像同時観察
術者: 術者: 愛知医大病院 眼形成・眼窩・涙道外科教授
(OPRS日本眼形成再建外科学会理事長) 柿崎 裕彦MD
コメンテーター: Myoung Eye Surgery Clinic院長 Choi Woon Chul MD
- ◎ PM4:30~5:00 **修了認定証書授与と記念写真の撮影**
柿崎 裕彦 MD Choi Woon Chul MD
- ◎ PM5:00 終了

JAASアカデミー美容整形塾LiveSurgery

6月11日(日) DR柿崎 眼瞼下垂ライブ(2症例)講習会

眼形成・再建+整容スキルを供覧 柿崎 裕彦(愛知医大病院 眼形成・眼窩・涙道外科)教授が、美容外科のトラブル症例・リオヘなど講義で解説しながら、50歳、60歳の眼瞼下垂術2症例を公開する。

手術撮影モニター(SurgiArm)を設置、眼瞼形成のマイクロサージェリーをライブと同時に観察します JAAS会員は「認定医」資格単位3単位を重複授与

1回毎の受講で修了

6月11日(日)
DR柿崎
眼瞼下垂ライブ講習会
眼形成・再建+整容スキルを供覧

講義: TKP東京駅八重洲コンフォレンセンター
ライブ供覧: 東京皮膚科・形成外科銀座院

修了証

柿崎 裕彦MD 愛知医大病院 眼形成・眼窩・涙道外科教授 (OPRS日本眼形成再建外科学会理事長)

柿崎医師をあえて説明するまでもない。美容外科、形成の世界ではその眼形成における学識そしてスキル力は類まれなドクターとして知られる。愛知医大では眼瞼付属器を対象とした眼形成・眼窩・涙道外科の外科的治療を行い、視機能や整容美も配慮した診療、治療を提供している。一方で臨床研究での成果を日本のみならず世界にも発信しており、ヨーロッパ眼形成再建外科学会、アメリカ眼形成再建外科学会のボードメンバーでもある。またアジア太平洋眼形成再建外科学会では学会長も歴任し、「日本が先んじてきた眼形成再建医療をアジアに広めていく」ために、尽力している。「医師の技能」「臨床研究者としてのたゆまぬ努力と豊富な論文発表」「後継の臨床育成に力を注ぐ熱心教授」「人情と正義感を愛する人間力」などその人物像は幅広い。96年大阪市大(医)卒業後、関連病院勤務、大手美容外科など勤務したのち、現在の愛知医大・眼科学の臨床医となるが、若き柿崎医師の経歴には先述の人物像を増やしてきたルーツがそこにあるようだ。少年時代は野球を追いかけたついでに「柿崎少年」である。野球少年はやがてけがもあって「夢」を追い続けたプロ野球への道を断念、一念発起してやがて医学部へ。卒業後、今後はありあまる体力を「ベンチプレス」へと向かわせ1999年、2000年に開催された全日本ベンチプレス選手権で優勝してしまう。極め続けるその固い意志と努力そして卓越したスキルと明晰な頭脳は、こんなルーツから生まれたに違いない。

Choi Woon Chul MD PhD (Myoung Eye Surgery Clinic院長)

集患には日本以上に宣伝投資をする韓国にあって、クリニックのホームページさえMyoung Eye Plastic Surgeryにはない。しかし月曜から土曜にかけてクリニックには患者があとを絶たない。もちろんのわけは韓国のみならずアジアでChoi医師の眼瞼形成スキルがドクターから、そして患者から絶大な評価を受けるからに他ならない。開業から10年目、眼瞼形成に特化した治療で積み重ねた症例数はすでにカルテNo.10,000に迫る。一方、国内外の学会やライブ指導のための眼瞼形成術の講演は年間40回を超え、毎月二回のペースで発表をするというから驚かされる。日々の手術、症例を国内外の医師に向けて投げかけ情報の共有をしながら、「より高みを目指す手術」をドクター達と議論したいとこのChoi医師の真摯な姿勢を物語る。JAAS、JAASアカデミーでは過去、ライブ講習会、ライブフォーラム、解剖実習と幾度となく指導医として招聘し、その熱心指導は日本の医師からも感嘆の声があるほどだ。「美容眼瞼形成術+機能再建術」としてのマイクロサージェリー・テクニクは任せだ。そしてこの整容的な眼瞼形成と機能再建を重視するChoi医師にとってそのベースとなる修学が解剖であることはいうまでもない。略歴: 87年 韓国ソウル医科大学の名門であるカトリック医科大学を卒業、同年ソウルのSt. Mary病院に研修医として着任。翌年から4年間、国民総徴兵制により韓国陸軍の従軍医として赴任する。その後2002年までカトリック医科大学の勤務医として働き、同時に医学博士を取得する。同医大では後に、2004年まで助教職を務め、2005年には日本の浜松聖隷病院にて研修医として赴任した。帰国後、さらに1年間、米国ユタ州立大の眼科センターで研修医として赴任。帰国後に現在のMyoung Eye Plastic Surgeryを開業する。クリニックの傍ら眼科関連の医学会のボードメンバーとしての重責を果たす一方、韓国政府が推進する「海外からの医療ツーリズム」招聘にあたって、国内の目録美容形成部門の審査委員も務めるなど、韓国でも著名な医師でもある。

2017年JAASは、新たな陣容でスタートをきった。そのおひとりに特別顧問として就任していただいたのが柿崎 裕彦 教授だ。そして、昨年の第7回JAASライブフォーラムの講演の続編として、6月11日(日)待望の「柿崎塾」ライブ講習会が開催の運びとなった。アカデミーの講師陣では主に切開系を「山本美容整形塾」、非切開系をJAAS理事量の池田 欣生医師の「アンチエイジング美容外科塾」、故・中間 健医師による「美容アンチエイジング医療再生医療」など過去開催してきたが、池田講師の塾はそのままだ、「山本美容整形塾」は、そこで学び実践に生かしている「塾生」にバトンが継承されつつ、新たに「DR 柿崎塾ライブ授業」が加わるようになった。フォーラムで最大の関心を集めた柿崎DRの講演「視機能のトラブル・異常と眼瞼下垂治療術」では、参加した美容外科ドクターからは「目からウロコの講義」と感嘆しきりだった。講演のなかで柿崎教授は「眼瞼は眼球に接しているため手術のため視機能に影響を与えないようにする必要がある」として、美容外科医として目の治療をやるうえで絶対覚悟してほしい基礎的な知識が「上眼瞼の解剖」と「涙腺とドライアイ」の2つであることを強調しつつ、「解剖」については、日本人の目の特性をきちんと理解することが大切で、例えば白人の場合、眼窩隔膜合流部と眼窩脂肪の先端は同じところに位置するが、日本人の場合、眼窩隔膜合流部は常に睑板よりも上方にあり、眼窩脂肪は合流部よりも前方で突出している点を理解してほしい。また、Muller筋の起始については一般的に上眼瞼筋筋の後面と考えられていたが、日本人の場合は上眼瞼筋筋から直接起始しているケースが多いことから、その相違を理解することが重要だと指摘している。さらに上眼瞼筋筋腱膜外角については構造的・機能的優位性を理解する必要がある。さらに上眼瞼筋筋腱膜外角については構造的・機能的優位性を理解する必要がある。この部分は筋が20度外方へ向かって走行しているため、腱膜の中央を睑板の中央に固定すると外法が吊り上がってしまう。そのため、睑裂の中央は睑板中央から約2mm鼻側に、また腱膜の中央は牽引時の二等辺三角形の頂点にするなど構造と機能を理解した上で手術を行うことも重要であると述べた。

「美容外科」と「眼形成・再建術」の世界を経験、熟知しているからこそ相違と対処法授

美容外科フィールドの「盲点」を学び、明日の診療に生かしてほしい

一方、最近では60歳以上のトラブルも増えており、高齢者の場合、涙液が減少しているため手術によって上瞼を挙げすぎるとドライアイや目にしこりを訴えたり、下眼瞼の弛緩によって閉鎖不全、夜間閉眼となることもあるため上瞼を挙げすぎない配慮などが必要であることも参加医師に投げかけた。さらにその他のトラブルとしては、術後の角膜炎変化によって乱視や角膜障害を起こすケースだ。角膜炎によって中には視力が0.7から0.01にまで落ちてしまい、眼瞼下垂治療どころか失明に近い状態になってしまっている患者もいることを理解し、より安全で丁寧な手術を心掛ける必要性もでてくる。かつて大手美容クリニックで3000症例以上の目の手術を行い、愛知医大病院でも眼瞼下垂を中心に2012年から現在まで年間1000症例にもおよび眼形成・再建術の手術をこなしてきたからこそ、美容外科として眼形成との手術の相違とその対処を熟知していることはいうまでもない。

本邦初となる柿崎教授の講義とライブ授業をたっぷり受講いただき、Choi医師とのディスカッションを交えながらの「必見!必聴!」のこの講習会で、美容外科医としてある意味「盲点」だったと眼瞼下垂術の考え方を手術の勘どころを取得していただきたい。

本ライブ講習会は、正式なプログラム発表前に「仮申し込み」での申込をいただいております。発表後、早々にも締切となる可能性もあり、お早目のお申込みをお願いする次第です。

2017年 JAASアカデミー Training Live Surgery Course

- First Study** : ◎ 1月29日(日) 美容婦人科塾 Dr 田中のスレッドリフト・テクニク (終了)
◎ 3月12日(日) 第3回公開ライブ 日韓仏独イスラエル美容医療ハンズオンフォーラム (終了)
◎ 3月25日(土) 26日(日) アートメイク塾 Dr Kimのソウル医療アートメイク術ライブ (終了)
◎ 4月2日(日) 美容アンチエイジング再生医療塾第2回Dr北條の再生医療ライブ (終了)
◎ 4月23日(日) 美容整形塾 Dr曾山のPenis Live Surgery (終了)
- Second Study** : ◎ 5月28日(日) 美容整形塾 Dr麗のビギナーのための「切らない眼瞼下垂」「腫れ少なく戻りにくい埋没重瞼」ライブ講習会
◎ 6月11日(日) 美容整形塾 Dr柿崎の眼形成・再建術 視機能を重視した眼瞼下垂ライブ講習会
◎ 6月17日(土) 18日(日) 第19回JAAS解剖・執刀トレーニング ソウルカトリック医大美容外科解剖
◎ 7月30日(日) 第3回Dr北條の再生医療ライブ 脂肪由来幹細胞の「豊胸術」と第2種、第3種再生医療治療計画書の代行(無償)手続き受付
◎ 7月~10月 詳細日程、内容は5月に決定します。
- Third Study** : このほか、シリコン除去後の豊胸注入術ライブ講習会、グラマライン形成術ライブ講習会、Dr Jinのビギナー向け鼻形成初級編 日韓比較 鼻尖形成、鼻翼縮小ハンプ修正ライブ講習会、医療痩身術ライブ研修、適用の違いによるスレッドリフト比較ライブ講習会、韓国女性器形成術ライブ、歯髄幹細胞培養液による歯科口腔治療ライブ講習会、下眼瞼形成術ライブ講習会、経営塾などを実施予定です
◎11月11日(土) 12日(日) 第8回JAAS東京ライブフォーラム
◎11月25日(土) 26日(日) 27日(月) 第20回JAAS解剖・執刀トレーニング タイ バンコク チュラロンコン大 美容外科解剖

*過去のライブ講習会、ライブフォーラム(2007年~2016年)のレポートはJAAS公式サイト(<http://www.jaas-online.com/>)のアーカイブに掲載中です。

- **受講対象** ■美容整形・皮膚科、形成や美容医療を始めてまだ目の浅い医師・整形外科、婦人科、眼科、麻酔科、内科など他科専門医まで (JAAS会員および非会員問わずすべて対象)
- **資格取得** ■6月11日受講のみで柿崎教授およびDR Choiより修了証授与 (JAAS会員は4単位重複授与)
- **定員・参加費用** ■限定16名/ライブ受講歴のある医師130,000円(税別)、受講歴のない医師140,000円(税別)
- **受講者全員に** ■参加者全員に当日の講義・ライブ供覧の動画を収録したDVDを進呈 (終了後2週間) なお、本DVDは参加者だけのための自宅学習用のため、非売品です。
- **主催** JAASアカデミー 〒104-0041 東京都中央区新富1-8-11-3F tel 03-6222-3121
- **後援** JAAS日本アンチエイジング外科学会

参加登録 <<お申込書>> JAAS事務局 FAX 03-6222-3125

お申込者には御請求書を発行・事前登録制のため、お早めのご入金をお願いいたします。

お名前	電話
病院・施設名	FAX
ご住所	
■ 6月11日(日) 限定16名	
ライブ受講歴あり(会員・非会員共)	130,000円(税別) × 名 = 円
ライブ受講歴なし(会員・非会員共)	140,000円(税別) × 名 = 円

※お申込後・ご入金後のキャンセルは、ご連絡ください。